

福井県勝山市地域おこし協力隊 2020年度活動報告

太田啓斗

アジェンダ

1、各設定項目に対する活動報告

1-1 勝山市の恐竜という魅力を最大限に

訴求するための企画、PR

1-2 勝山市の繊維産業や特産品が一層脚光を浴びるような

企画、PR

1-3 勝山市内の新たな観光資源の確立に向けた

施策の検討とPR

1-4 1～3の活動の関東圏でのPR

2、活動から見えてきた勝山市の課題

3、課題解決に向けたアクションと提案

アジェンダ

1、各設定項目に対する活動報告

1-1 勝山市の恐竜という魅力を最大限に

訴求するための企画、PR

1-2 勝山市の繊維産業や特産品が一層脚光を浴びるような

企画、PR

1-3 勝山市内の新たな観光資源の確立に向けた

施策の検討とPR

1-4 1～3の活動の関東圏でのPR

2、活動から見えてきた勝山市の課題

3、課題解決に向けたアクションと提案

やったことまとめ

日本画恐竜展 福井県勝山市展

ー恐竜×アートのイベントを企画。県内外含め260人の来場を記録。

青山学院大学×繊維産業連携企画

ー都心大学生との地方創生企画を進行中。

テントサウナイベント

ーテントサウナを各所で展開し、県内外含め11回展開。

メディア、SNS発信

ー個人SNSだけでなく、広報誌、新聞、テレビ、ラジオ等にて活動発信。

コロナ禍の制約のなかで、「できること」を求めた

1、各設定項目に対する活動報告

1-1 勝山市の恐竜という魅力を最大限に訴求するための企画、PR

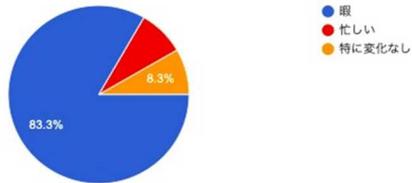
成果	恐竜×○○の可能性	実際にイベントを実施し、恐竜を何かと組み合わせることの可能性を大きく感じた。
	イベント不足	勝山市内で何か新しいアクションや企画が少なく、かつコロナ禍ということもあり、市民の“イベント飢え”を感じた。
	コロナ対策	換気や間隔を空けた作品展示、さらにVRでのリモート展示も取り入れ、コロナ禍でのイベントの打ち方を見出した。
来期の方針	<ul style="list-style-type: none">・ 第二回日本画恐竜展 福井県勝山市展を企画中（2021年8月を予定）ワークショップや物販イベントの展開や、福井県立恐竜博物館とのコラボレーションを検討中。・ 「恐竜×○○」を軸にいくつかの企画を進行。	

1、各設定項目に対する活動報告

1-2 勝山市の繊維産業や特産品が一層脚光を浴びるような企画、PR

<p>今期進捗</p>	<p>50~60%</p>
<p>具体的なアクション</p>	<p>青山学院大学経営学部学生リーダーズ「SBSL」と連携した地方創生プロジェクトの進行 (勝山市役所3名、株式会社東野藤吉織物、株式会社ラコム、白木興業株式会社、松文産業株式会社、有限会社多田製紐参加) 移住相談などでのPRなど</p>

以前と比べて、今のコロナの時期について
12件の回答



- withコロナでやってみたい企画(福井に関することでも別のことで大丈夫です)
12件の回答
- 名産品のオンライン販売、飲食店の支援活動(その活動を広めるなども)、ネットのSNSを活用して情報発信
 - 恐竜でコロナを吹き飛ばそう!みたいな感じの企画(内容は全く思いついておりません)
 - ・テイクアウトやデリバリーを行っているお店を紹介する
 - zoomなどを使った企画の報告
 - 恐竜の配信(VR)
 - マスク関連
 - テイクアウト関連
 - 特になし
 - 特にないです。
 - リモート恐竜博物館



1、各設定項目に対する活動報告

1-2 勝山市の繊維産業や特産品が一層脚光を浴びるような企画、PR

成果	勝山市内の実情調査	繊維産業の実情だけでなく、他地域の地方創生事例や一市民としての意識調査にもつなげることができた。
	青山学院大学学生らによる繊維産業と市役所の接点構築	いままで行政としても把握できていなかった、市内主要産業の実情を知ることに繋がり、民間企業側から行政に伝えたい事項も共有でき、いままでなかった接点を生み出すことができた。
来期の方針	<ul style="list-style-type: none">・ヒアリング会の結果を受け、解決すべき今回の課題を策定し、それに対するアプローチを市役所側と青山学院大学学生側で調整し、アクションプランを決定する。 →本格的な企画実行は2021年夏頃を予定し、そのタイミングで学生らの来訪も検討。・繊維企業各社の個別での課題解決対応や、それぞれの取り組みへの参画を継続して行う	

1、各設定項目に対する活動報告

1-3 勝山市内の新たな観光資源の確立に向けた施策の検討とPR

成果	サウナイベントの 継続展開	今年度、県内外含め計11回のリアルイベント、計2回のオンラインイベントを開催・出展し、コロナ禍でも平均して毎月1回ほどの継続展開を行うことができた。 (和歌山県、福井県勝山市、大野市、越前市、若狭町、おおい町にて展開)
	地域資源の活用	勝山市産のサウナストーンやハーブティー、スギやクロモジの樹木を活用したアロマオイル精製、スイーツ倶楽部を巻き込んだ商品開発、組紐やシルク印刷スペースとの協業などを行い、地域資源とサウナを繋げた。
	メディア露出	市内広報誌だけでなく、新聞、テレビ、ラジオ、Webニュース、SNSなど各種媒体での露出を行い、福井県下にとどまらない情報発信を行う。
来期の方針	<ul style="list-style-type: none">・市内農家や飲食店だけでなく、地域産業全般を巻き込んでサウナとの連携を図る（サウナ飯の開発や、端材を薪として利活用など）・北陸サウナフェスのような大型イベントの企画・サウナを活用した「場作り」に着手（サウナシェアハウスや常設のサウナ小屋の建造、クラウドファンディングの再検討など）	

1、各設定項目に対する活動報告

1-3 勝山市内の新たな観光資源の確立に向けた施策の検討とPR

成果	サウナイベントの 継続展開	今年度、県内外含め計11回のリアルイベント、計2回のオンラインイベントを開催・出展し、コロナ禍でも平均して毎月1回ほどの継続展開を行うことができた。 (和歌山県、福井県勝山市、大野市、越前市、若狭町、おおい町にて展開)
----	--------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



1、各設定項目に対する活動報告

1-3 勝山市内の新たな観光資源の確立に向けた施策の検討とPR

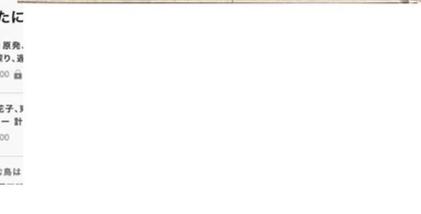
成果	地域資源の活用	勝山市産のサウナストーンやハーブティー、スギやクロモジの樹木を活用したアロマオイル精製、スイーツ倶楽部を巻き込んだ商品開発、組紐やシルク印刷スペースとの協業などを行い、地域資源とサウナを繋げた。
----	---------	---------------------------------------------------------------------------------------------------



1、各設定項目に対する活動報告

1-3 勝山市内の新たな観光資源の確立に向けた施策の検討とPR

<p>成果</p>	<p>地域メディア露出</p>	<p>市内広報誌だけでなく、新聞、テレビ、ラジオ、Webニュース、SNSなど各種媒体での露出を行い、福井県下にとどまらない情報発信を行う。</p>
-----------	-----------------	---------------------------------------------------------------------------



1、各設定項目に対する活動報告

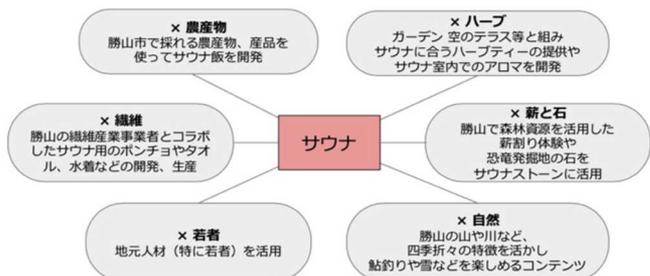
1-3 勝山市内の新たな観光資源の確立に向けた施策の検討とPR

来期の方針

- ・市内農家や飲食店だけでなく、地域産業全般を巻き込んでサウナとの連携を図る（サウナ飯の開発や、端材を薪として利活用など）
- ・北陸サウナフェスのような大型イベントの企画
- ・サウナを活用した「場作り」に着手（サウナシェアハウスや常設のサウナ小屋の建造、クラウドファンディングの再検討など）

SAUNA FURO TIMESの目指すところ

サウナと地域資源を繋げる



1、各設定項目に対する活動報告

1-4 1～3の活動の関東圏でのPR

今期進捗	100%
具体的なアクション	<p>個人のSNSアカウント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Facebook 1,335人 ・ Instagram 2種計 737人 ・ Twitter 3種計 2,020人 ・ Clubhouse 642人 <p>を活用して活動の様子やイベントを発信。 活動の様子をメディア等で取り上げてもらう。</p>



太田啓斗@恐竜ブランドと福井県勝山市地域おこし協力隊

@keito_ota

サウナで町おこし 🦖👤

元おもちゃ会社

DIN. (恐竜モチーフのアパレルブランド) 🦖

SAUNA FURO TIMES (テントサウナイベントやグッズ製作) 🦖🔥👤

福井県勝山市地域おこし協力隊

刺繍アイテムの製作等、ご相談はDMかサイトの問い合わせへ

[自己紹介を翻訳](#)

din-fashion.com 🌐 誕生日: 1993年4月27日

📅 2019年8月からTwitterを利用しています

1,520 フォロー中 1,196 フォロワー

[プロフィールを編集](#)

太田啓斗@恐竜ブランドと福井県勝山市地域おこし協力隊

@keito_ota

来年、必ず4,5月ごろにサウナフェスというイベント企画を福井県勝山市でするからまじで来て欲しいです。

サウナ好きのためのフェスにするから。

お願いします。

インプレッション 25,020

エンゲージメント総数 875

詳細のクリック数 410

プロフィールのクリック数 264

いいね 173

リツイート 18

返信 10

SMOUTの中の人～地域のためのマッチングサービスで... · 3月13日 ...

各地で広がるサウナイベント 🦖
福井からアウトドアでサウナを楽しめると話題の「テントサウナ」のイベントが福きました 🌟
14日回と20日(土)の2日間、おおい町と勝山市でそれぞれ開催予定。イベント限定のサウナハットや銭湯タオルの販売もあるそうですよ 🦖

サウナで福井を繋ぐ! 「FUKUI SAUNA WEEK!」の参加者を募集! ...
2021年3月14日(日)、3月20日(土) FUKUI SAUNA WEEK! と題したテントサウナイベントを開催します。福井県の嶺北と嶺南を...
smout.jp

1、各設定項目に対する活動報告

1-4 1～3の活動の関東圏でのPR

成果	発信への周囲の 関心度の高まり	「サウナ」「恐竜」に関する発信の継続により、 ・ Facebook 123人増加 ・ Instagram 2種計 251人増加 ・ Twitter 3種計 1,160人増加 (※いずれも広告費投下なし) という発信自体の訴求力や関心度が高まった。
	福井県下での 活動の認知向上	都市圏へのPRはSNS等に特化しつつ、地域メディアの活用により福井県民への活動の周知ができ、勝山市外の人たちへの注意喚起につながった。
来期の方針	・ コロナ禍の沈静化の前に、より積極的なPRを通して、「落ち着いたらまず福井、勝山に行きたい」という感情の喚起につなげる。 ・ SNSでの配信の継続やメディアへの露出継続だけでなく、より全国版メディアやwebメディアに掲載してもらえるような大きな枠組みでのアクションにも取り組む。	

アジェンダ

1、各設定項目に対する活動報告

1-1 勝山市の恐竜という魅力を最大限に

訴求するための企画、PR

1-2 勝山市の繊維産業や特産品が一層脚光を浴びるような

企画、PR

1-3 勝山市内の新たな観光資源の確立に向けた

施策の検討とPR

1-4 1～3の活動の関東圏でのPR

2、活動から見えてきた勝山市の課題

3、課題解決に向けたアクションと提案

2、活動から見えてきた勝山市の課題

2019年度に見えていた課題

◆若年層の欠如

- 将来の勝山の担い手（20～30代）不足
- 勝山でやりたいことがない＝外に修行に出ても戻って来ない

◆宿泊施設、コミュニティスペースの欠如

- 観光産業の整備をしても受け入れのインフラが整っていない
- 人が集まり、何かを始めたくなるような創出の場がない

◆自由に“遊べる”場所の欠如

- 好きなこと、やりたいことを実験、トライできるような環境がない
- 廃校や空き家など利活用の事例が圧倒的に少ない

◆一次産品、最終商品生産業者の欠如

- 気候はあれど、名物といわれるものやそれを作ろうとし始める人の欠如

◆恐竜博物館以外での消費の欠如

- 勝山市内の掛け橋の掛け方が出来ていない

2、活動から見えてきた勝山市の課題

2020年度に解決されてきた課題と未解決な課題

◆若年層の欠如

→テントサウナ事業の展開により、移住者ではなくとも、関係人口の創出を狙う

◆宿泊施設、コミュニティスペースの欠如

→一部の民間の有志で、ものづくり、コワーキングスペースやゲストハウスができたりした。**(しかしまだ足りていない)**

◆自由に“遊べる”場所の欠如

→**×** **(コロナ禍もあるが、遊休資産の活用事例は皆無)**

◆一次産品、最終商品生産業者の欠如

→道の駅の建設により、市内生産業者の顕在化ができた。
(しかし新たな動きはいまだ弱いまま)

◆恐竜博物館以外での消費の欠如

→道の駅の建設により、いままで取りこぼしていた消費の食い止めには成功か。
(しかし観光客の減少により、勝山市内周遊型の消費は少ない)

アジェンダ

1、各設定項目に対する活動報告

1-1 勝山市の恐竜という魅力を最大限に

訴求するための企画、PR

1-2 勝山市の繊維産業や特産品が一層脚光を浴びるような

企画、PR

1-3 勝山市内の新たな観光資源の確立に向けた

施策の検討とPR

1-4 1～3の活動の関東圏でのPR

2、活動から見えてきた勝山市の課題

3、課題解決に向けたアクションと提案

勝山に必要なもの

【火が起こる場づくり】

- ワクワクした話が生まれる
- チャレンジしたい人を応援する
- それぞれの持ち味を出し合う
- 言い訳ではなく、提案を

シェアハウス？

公民館？

ゲストハウス？

カフェ？

公衆浴場？

コミュニティスペース？

⇒空き家、空き店舗・スペースの有効活用を進めるべき

2021年度に取り組むべき課題とその解決策

- ◆ 宿泊施設、コミュニティスペースの**不足**
- ◆ 自由に“遊べる”場所の欠如（**遊休資産の活用事例は皆無**）
 - ⇒ 長尾山開発計画は進めつつも、岩屋オートキャンプ場や東山いこいの森、雁が原や**廃校・廃園・空き家などの“使いやすい仕組み”**を考えるべき市民にやる気の“火”が灯せるような、**遊び場**としての機能が必要。空き家の件数を行政が積極的に動き増やす・マインド育成することで、移住者増加にも繋がられるはずである。
- ◆ 一次産品、最終商品生産業者の欠如（**新たな動きはいまだ弱いまま**）
 - ⇒ シェアキッチンやシェア工房、FABスペースやこワーキングスペースなど、**ものづくりや加工を市民が自由にできるような場**を整備することで市民参加型、かつ意欲が向上するような場を作るべき。（道の駅漁協スペースや、市内工場・空きテナントの利活用など）
- ◆ 恐竜博物館以外での消費の欠如（**観光客の減少による市内周遊型の消費減**）
 - ⇒ 現在検討を進めているが、**勝山市・鯖江市2拠点サウナシェアハウスの同時立ち上げ**などを行い、**地域の情報や体験のハブ**となる施設を作る「そこに行けば、その地域を知り、体験したくなる」という場が必要。

勝山市を
もっとワクワクして
もっと楽しい町にするために

「何かやりたい」

を支援できる市にしたい。

ご清聴ありがとうございました。

